

ボードゲームで水の大切さを学びませんか

～水について世界の人々と協力してボードゲームを製作しました～

日本の環境省とフランスの環境連帯移行省の後押しを受け、大野市の視察団が2017年末にフランスを訪問したことをきっかけに、水と環境をテーマとした交流が、フランス オルレアン市と大野市の間で始まりました。オルレアン市の水の支援地であるベナン パラクー市を巻き込み、3つの市で水の大切さと水の普遍性を世界に伝えるための教材を作ることになり、この度、ボードゲームを製作しました。

記

- 1 目的**
 - ・遊び感覚で水に関する知識を楽しく取得できるようにすること。
 - ・大野市、オルレアン市、パラクー市の互いの文化を分かり合い、水についての当たり前が異なっていることを知ること。
 - ・国際感覚の向上と国際交流を促進すること。
- 2 ボードゲームの名前 「P2O と一緒に青い宝石を守ろう！」**

「青い宝石」は「大切な水」を意味しています。「P2O」とは、水を表す分子記号 H_2O にこのゲームを作った3つのまち、パラクー市 (Parakou)、オルレアン市 (Orléans) と大野市 (Ono) の頭文字を当て、生まれたキャラクターの名前です。
- 3 ボードゲーム製作に関わった地方自治体および学校**

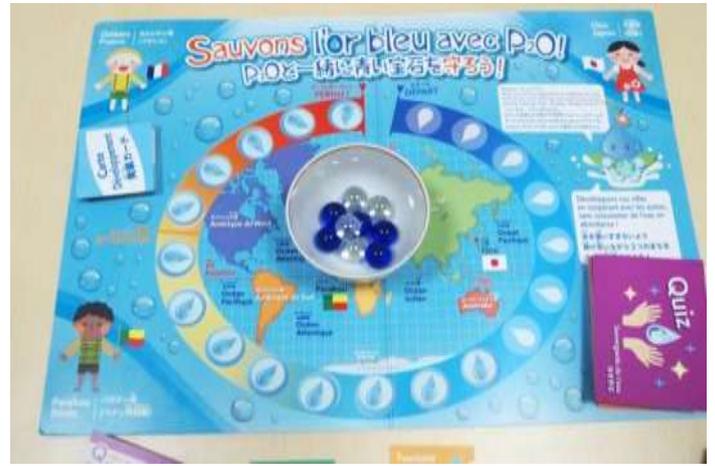
別紙資料のとおり
- 4 ボードゲームの内容**

別紙資料のとおり
- 5 今後の予定** 無料で貸し出すほか、授業や講座などに活用していきます。
 - ・市のホームページにてボードゲームを紹介します。
 - ・水のがっこう、本願清水イトヨの里、博物館、図書館、在日フランス大使館、在日ベナン大使館にゲームを設置します。

【問合わせ先】

水のがっこう（大野市明倫町3-42）
産経建設部建設整備課湧水再生対策室
電話 64-4813

2 ボードゲームの内容



ボードゲームの製作：

大野市、オルレアン市、パラクー市がともに利用できるボードゲームを製作しました。ゲームのデザインは各市の担当者がメールやスカイプ会議をとおり協力し考えました。クイズは各市の子ども達が作りしました。大野市からは有終南小学校が参加しました。

ルール：

日本、フランス、ベナンに割り当てられた3人のプレイヤーが世界の水を使い、それぞれの国の家庭、農業、工業、観光を発展させていきます。世界の水は限られているので、プレイヤーはお互いの国を理解し助け合わなければいけません。プレイヤーは、クイズに答えて、各産業を節水化したり、別の国と産業の技術を交換します。水を使いすぎると全員がゲームオーバーになってしまいます。

クイズ：

4つのテーマに分類されています。

れきし・ぶんかざい・しぜん：歴史、文化財、遺産、自然、観光地、人口、動物、植物

水のすがた：物理、化学、地理、気候、地形、季節

せいけつ・けんこう・しせつ・たべもの：衛生、健康、病気、食べ物、農業、バーチャルウォーター

水を守る：水資源保全、持続的な水管理、技術、水を無駄にしない工夫、SDGs

